

『令和6年度 長峰中学校—教育活動の全体構想（グラントデザイン）』

【茅野市教育基本目標】：『21世紀を切り拓く心豊かでたくましくやさしい子ども』の育成
 【縄文のビーナスプラン】：『縄文のビーナスのように輝く子どもたち』
 一人ひとりの子どものもつ多様性と力を伸ばす教育

【長峰中学校園の目標】

友や地域とつながりながら、心豊かに、たくましく、未来を切り拓く子ども

＜学校教育目標＞ 開拓精神

「開拓精神」は本校開校以来の学校教育目標である。本校生徒や地域の特質を踏まえ、「未知なる新しい世界の困難に立ち向かい、試行錯誤を繰り返しながら粘り強く挑戦し続ける姿」と定義し、教育活動を展開する。

目指す子ども像

試行錯誤する、自己有用感の高い、しなやかな生徒

【重点】 ①豊かな学び合い ②主体性・表現力の伸長 ③あたたかい心の育成

質の高い授業づくりに向けた取組

- ①基礎的な学習内容の定着と自己表現力の育成
 - ・生徒自らが考え、表現しながら楽しんで学力や体力を向上できるような授業の展開
 - ・授業の終末におけるついた力を振り返る場面の確保
- ②教科指導の効果を高めるICTの活用
- ③長峰中学校校区3校による研修を通しての学び合い、高め合い、一貫した学習指導の確立

③

誰にも居場所がある
「安心・安全」な
あたたかい学校

認め合い、支え合う集団づくり

～学級・学年・部活動を通して～

- ①生徒同士のコミュニケーションの量的・質的向上
- ②生徒の実態把握の方法を具体化（「Q-U」や「いじめに関するアセスメント」と「人権意識の向上」に繋がる具体的な活動実践
- ③特別な支援を必要とする生徒、不登校不適応傾向の生徒への適切な支援の充実および校内システム作り

【学力向上】

- ①個に応じた学習環境の整備と学習習慣の形成
 - ◇教室、授業のユニバーサルデザイン化の推進
- ②ドリル・家庭学習の充実による補充・補完指導の推進→作業からの脱却
- ③学力調査等の評価・分析による授業改善

①「主体的・対話的で深い学び」による確かな学力の定着

生徒も職員も明日を楽しみにする
長峰中学校
【合言葉】プラスワン
「+1」

②「ひと・こと・もの」との出会いによる「生きる力」の育成

挨拶や清掃、服装や時刻厳守など日常生活の向上～師弟同行～

- ①「挨拶・清掃・奉仕活動」の三本柱の充実。生徒会活動を中心に据えて継続的に取り組み、明るい雰囲気になった学校づくり。
- ②規範意識の高揚・基本的生活習慣形成への足並みを揃えた指導・支援。
- ③生徒の願いや思いから発し、主体的・対話的な活動を通して学校生活をよりよくなる生徒

業務改善・質の高い授業を行うための教材研究と子ども・保護者に寄り添った支援

- ・会議の効率化・教務会等、諸会合のスライドへの位置づけ
- ・定時退勤日の確実な実施と業務改善委員会の充実

地域の資源（ひと・こと・もの）を最大限に活かしたコミュニティスクールの運用

- ①「職場体験」・「地域奉仕活動」・「三校清掃」等の体験・奉仕活動の充実と交流を通して「学び」の深化
- ②地域講師の発掘と、その専門性、生き方に学ぶ機会の充実（好きをとことん追究できる総合的な学習の時間（縄文・市民科学習）を通して、社会への関心と生きる力を高める）
- ③自分らしい表現によるまとめやプレゼン

小中一貫教育の充実（「地域の学校」づくり）

読書教育	縄文・市民科	心の教育	健康・スポーツ教育	交流（英語）教育	ICT教育
心を耕し、言語活動を豊かにし、表現力を高める	縄文人の文化、精神的に学び、ふるさとを愛する心を育てる	自尊心を高め、自己を尊重し、共生しようとする心を育む	食と健康および体力向上の視点から、自己を管理し高める態度を育成する	学区内の交流や高崎市、ログモント市などの交流から国際感覚を豊かにする	ICTの効果的な活用により「主体的・対話的で深い学び」を実現する
◇調べ学習 ◇読み聞かせ	◇縄文文化の学習 ◇市民性の涵養	◇人権教育の充実 ◇道徳の充実	◇食育の充実 ◇強歩大会	◇幼保小中高連携 ◇姉妹校交流	◇GIGAスクール構想 ◇情報モラル

「コミュニティスクール」の機能化と充実

◎学習支援 ◎体力向上支援 ◎地域とのつながり支援
 教師の自己評価 生徒の授業評価 関係者評価等による「全体構想」の不断の見返しと改善